

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 1814

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島修道大学		科目開講 キャンパス	本学																	
2. 科目名	正式科目名	法律学概論			クラス名																
	副題				配当年次	1・2・3・4															
	旧科目名				受入学年	2・3・4															
	学問分野	番号	21	名称	法学																
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群																
3. 担当教員名	村上 博 他																				
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期																	
6. 開講期間 曜日・時間	2019年 9月18日(水) ~ 2020年 1月22日(水) 水曜日 16:30 ~ 18:00																				
個別開講日	1回目 9/18	2回目 9/25	3回目 10/2	4回目 10/9	5回目 10/16	6回目 10/23															
	7回目 10/30	8回目 11/6	9回目 11/20	10回目 11/27	11回目 12/4	12回目 12/11															
	13回目 12/18	14回目 1/8	15回目 1/15	16回目	試験日 1/22																
7. 基礎知識の有無	②. 「基礎知識を必要としない科目」																				
8. 募集人数 (総授業定員)	10人 (300人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類審査																	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>法律学が対象とする法律にはさまざまな分野があります。憲法、民法、刑法といった知名度の高いものもあれば、行政法、会社法、労働法といった身近ではあるがなじみの薄いものもあります。また、法律学と隣接領域（歴史学、社会学、思想史など）と結びついたものもあります。こうしたさまざまな法律や法分野の姿をできるだけ簡明にその特徴を浮き彫りにできるように講義していきます。なお、憲法と国際法は別科目を受講してください。</p> <p>授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>① 法とは何か</td> <td>② 世界の中の日本法</td> </tr> <tr> <td>③ 法学の諸分野</td> <td>④ 民法（契約法）</td> </tr> <tr> <td>⑤ 民法（不法行為法）</td> <td>⑥ 会社法</td> </tr> <tr> <td>⑦ 経済法</td> <td>⑧ 司法制度</td> </tr> <tr> <td>⑨ 刑事法の体系、刑法の基礎（1）</td> <td>⑩ 刑法の基礎（2）</td> </tr> <tr> <td>⑪ 刑事訴訟法の基礎</td> <td>⑫ 憲法</td> </tr> <tr> <td>⑬ 行政と法</td> <td>⑭ 労働法</td> </tr> <tr> <td>⑮ 社会保障法</td> <td></td> </tr> </table>					① 法とは何か	② 世界の中の日本法	③ 法学の諸分野	④ 民法（契約法）	⑤ 民法（不法行為法）	⑥ 会社法	⑦ 経済法	⑧ 司法制度	⑨ 刑事法の体系、刑法の基礎（1）	⑩ 刑法の基礎（2）	⑪ 刑事訴訟法の基礎	⑫ 憲法	⑬ 行政と法	⑭ 労働法	⑮ 社会保障法	
① 法とは何か	② 世界の中の日本法																				
③ 法学の諸分野	④ 民法（契約法）																				
⑤ 民法（不法行為法）	⑥ 会社法																				
⑦ 経済法	⑧ 司法制度																				
⑨ 刑事法の体系、刑法の基礎（1）	⑩ 刑法の基礎（2）																				
⑪ 刑事訴訟法の基礎	⑫ 憲法																				
⑬ 行政と法	⑭ 労働法																				
⑮ 社会保障法																					
11. 試験・評価方法	学期末試験（筆記試験 100%）により評価します。																				
12. 別途負担費用	なし																				
13. その他特記事項	授業で使用する法令集は貸与します。																				
14. サテライト科目 の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否																
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否																